

学校だより

やまなみ

平成30年7月27日 No.18-5

奥多摩町立古里小学校



1学期、ありがとうございました

校長 石上 和伸

七月は学校も児童の健康を考え野外活動の自粛などの対応が続きました。寒さ対策を考えるほどであった始業式を思うと、この1学期の月日の大きさを感じます。

子供たちは、この4か月、心を動かし頭と体を使いたくさんのことを学びました。入学や進級に緊張していた子ども達も、今はしっかりと自分の課題に向かって取り組んでいます。うまくいったこともあるでしょうが、思い通りにいかなかったこともあるでしょう。一生懸命な取組と成功や失敗の様々な経験を通して、子供たちは確かに成長してきました。

終業式では、3年生の子どもたちが今学期の頑張りや成長を発表しました。頂に立てば周りの山が見え次に向かう頂を見定められるように、一人一人が今までの成長に自信をもち、さらにしっかりと課題を見据えて努力を続けてほしいと思います。

TVでは連日大雨の被害にあった西日本の映像が流れています。猛暑の中での難儀を思うと心より胸が痛みます。その中で一刻も早い生活の安らぎを願い、多くのボランティアの方が流れる汗をぬぐってスコップを握る姿に敬意を抱きます。体験から得た知恵や技と人々の中で育まれた心が調和したとき、人は尊く大きな力を発揮するのだと感じました。

明日からは夏休みです。日ごろできない体験を計画されているご家庭もあるでしょう。学校や社会教育で用意した企画もご活用いただければと思います。家の仕事、苦手な学習への挑戦等、ふだん行っていることを改めてじっくり丁寧に取り組んでみることも、長い休みならではの取組です。見聞きしてきたことを振り返り、自分が何をしたいか考えることもあるかもしれません。たくさん本を読んでいろいろなことをいっぱい考えてほしいと思います。特に興味・関心・疑問に思ったことを調べたり試したり、まとめたりすることにはぜひ取り組んでいただければと思います。

貴重な時間も、ゲームやテレビに浸れば瞬く間に過ぎます。生活リズムや行動の安全については、ぜひお子様とご家族で話し合い、ルールを決めていただければと思います。お配りした「元気で楽しい夏休み」もご利用ください。

猛暑はまだ続く見込みです。地球環境の変化との関連を指摘する声もあり、私たちの生活を見直すことの重要性を改めて感じます。今年の夏は大人も子供も様々なことを考え生活を見直す機会が多い夏となるのではないのでしょうか。

一人一人が様々な体験を通して頭も心も体も更に大きく豊かになって、新学期のスタートラインに立つことを楽しみにしています。

今学期の皆様の厚いご理解とご協力に、心から感謝すると共に2学期もどうぞよろしく願いいたします。

